

## 資料2

# 事業用自動車事故発生状況及び事故の 特徴について

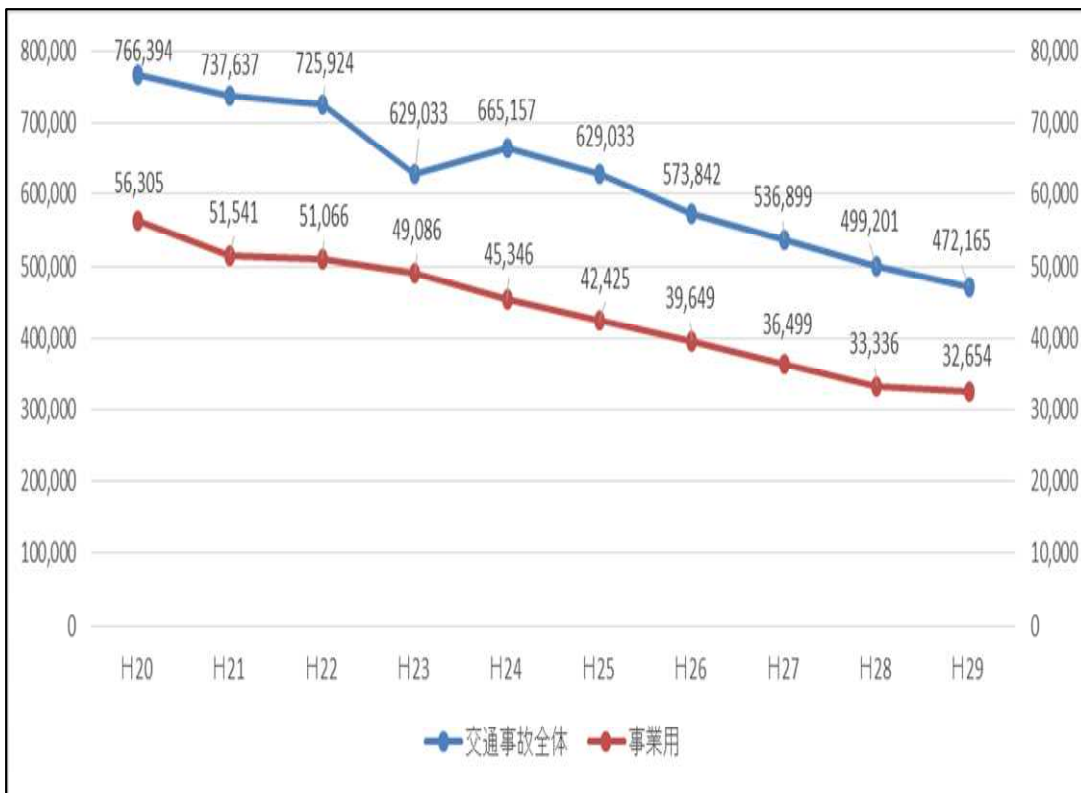
近畿運輸局 保安・環境課

## 近畿地域事業用自動車安全対策会議

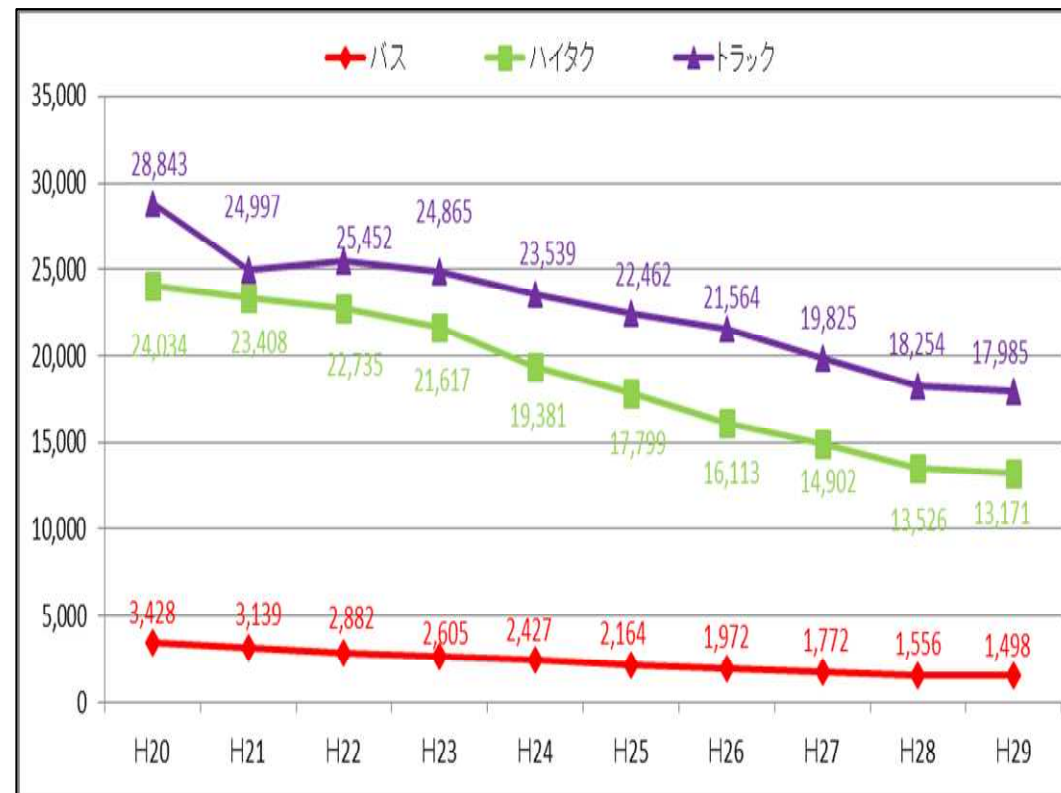
# 交通事故件数の推移(全国)

- 平成29年中に発生した交通事故全体の件数は、472,165件であり、そのうち、事業用自動車の交通事故件数は、32,654件となった。
- 各モードの交通事故件数は前年と比べて減少している。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



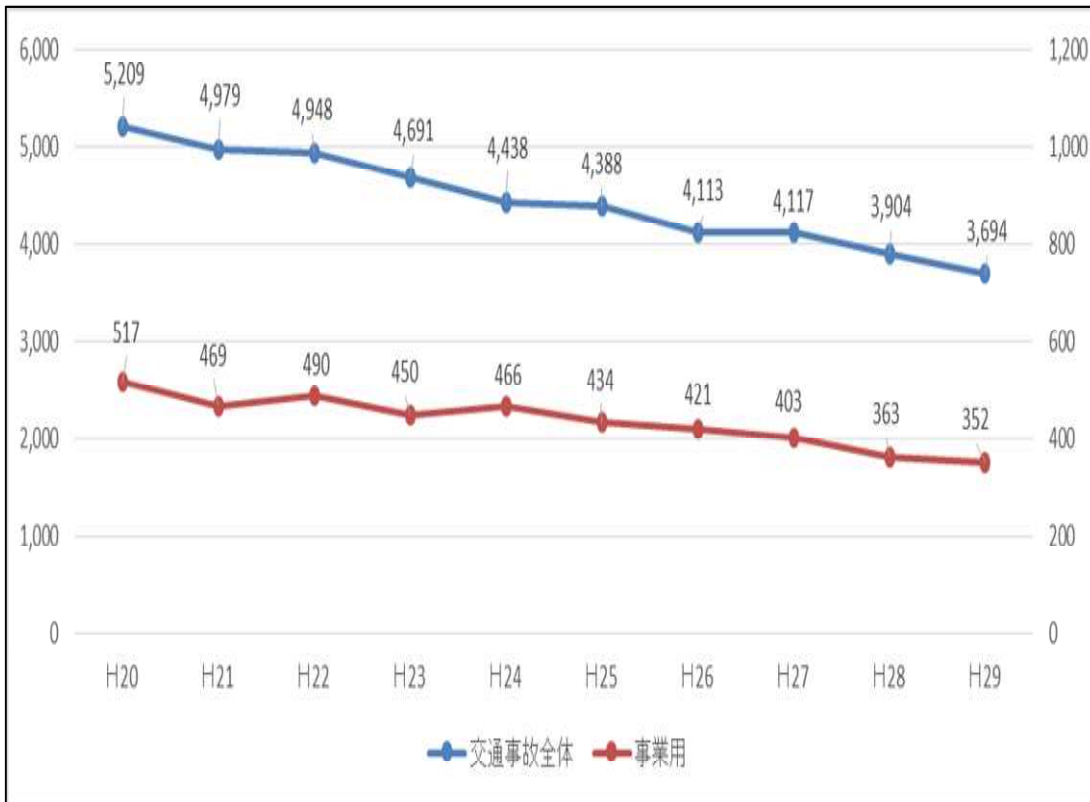
## 各モードの交通事故の推移



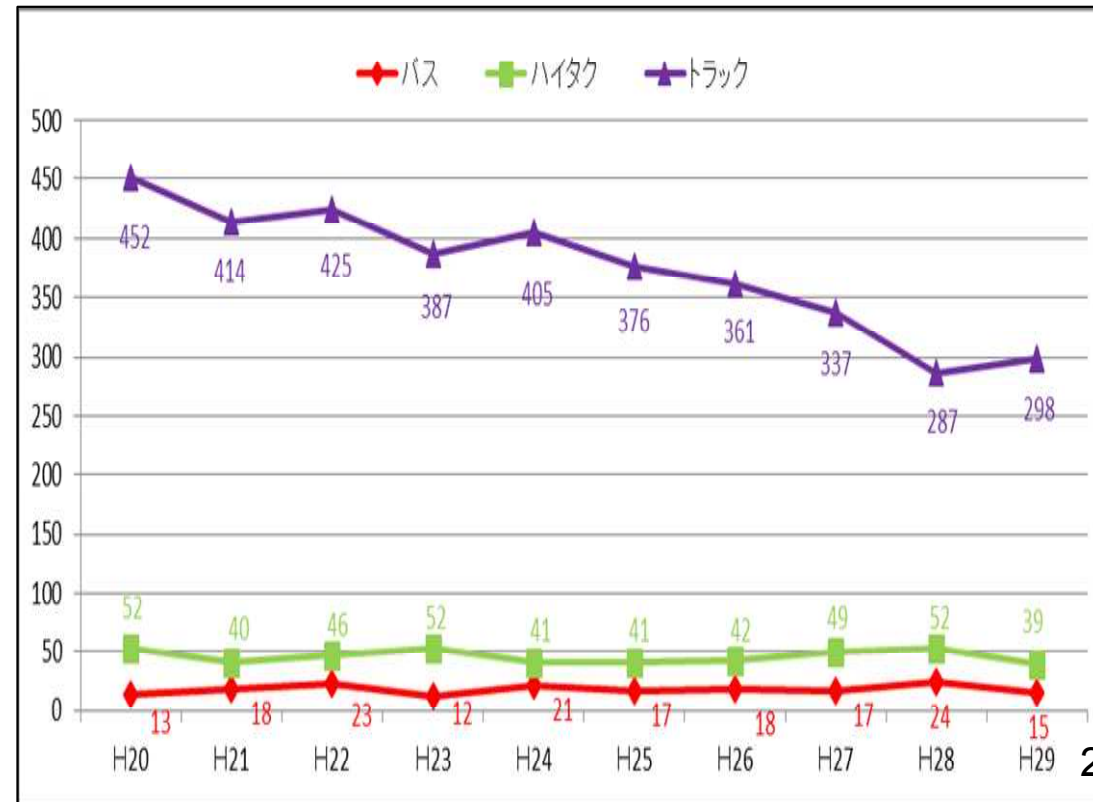
# 交通事故死者数の推移(全国)

- 平成29年中に発生した交通事故全体の死者数は、3,694人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は、352人となった。
- 交通事故全体の死者数は前年に比べ減少、事業用自動車の交通事故死者数は、減少傾向で推移している。
- 平成29年の各モードの交通事故死者数は、トラックは前年に比べ増加、バス、ハイタクは減少している。

## 交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



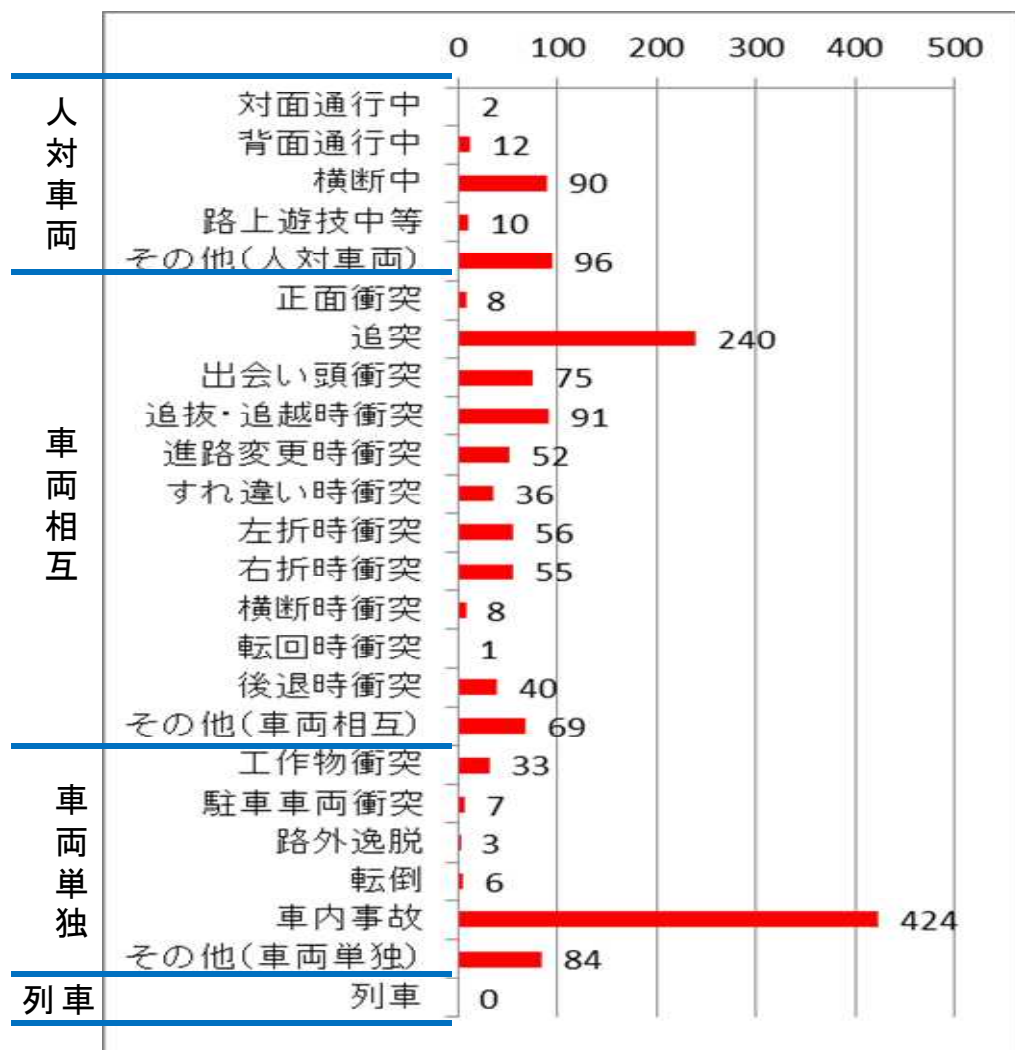
## 各モードの交通事故死者数の推移



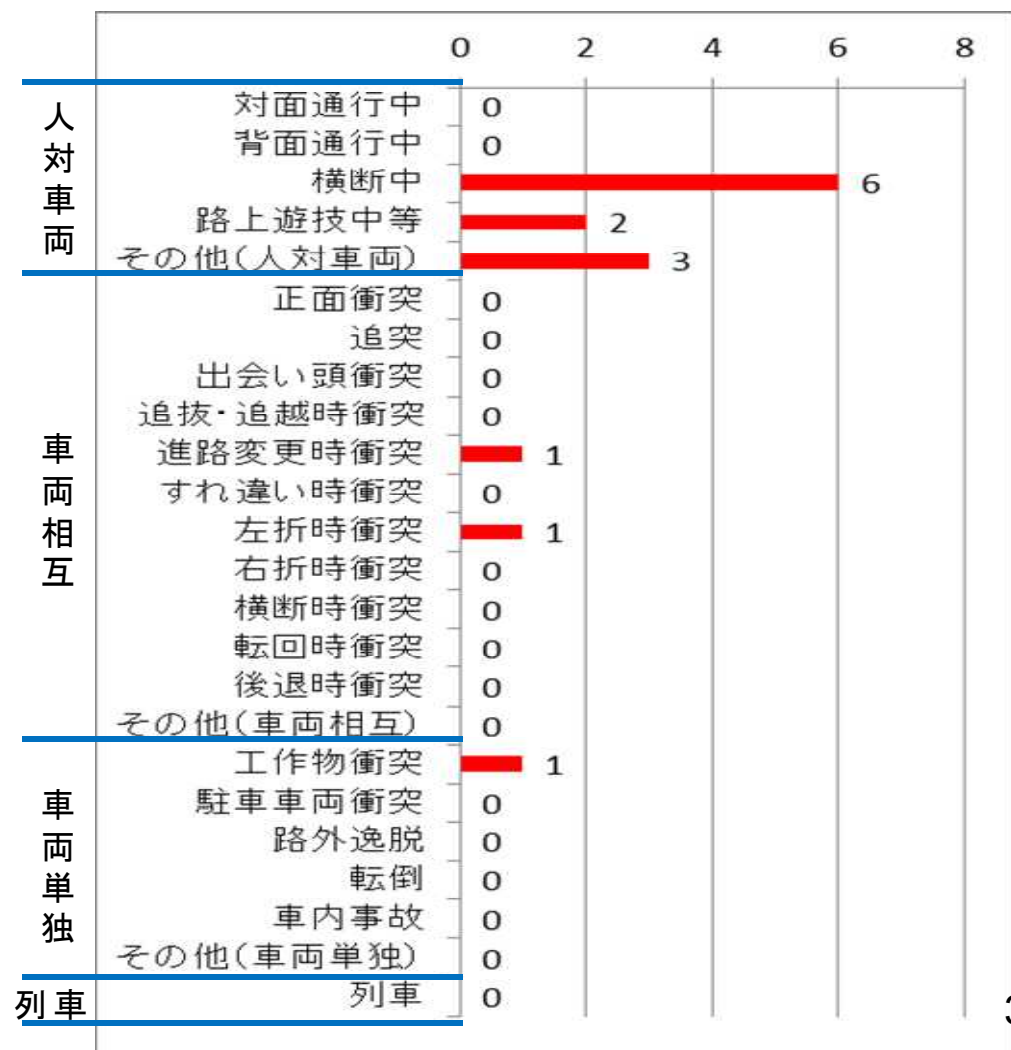
# バスの特徴的な事故(全国)

○事故件数は、車内事故が最多で424件発生しており、続いて追突が240件となっている。  
 ○死亡事故件数は、人対車両が11件発生しており、その中で横断中が6件発生している。

平成29年事故類型別事故件数の内訳



平成29年事故類型別死亡事故件数の内訳

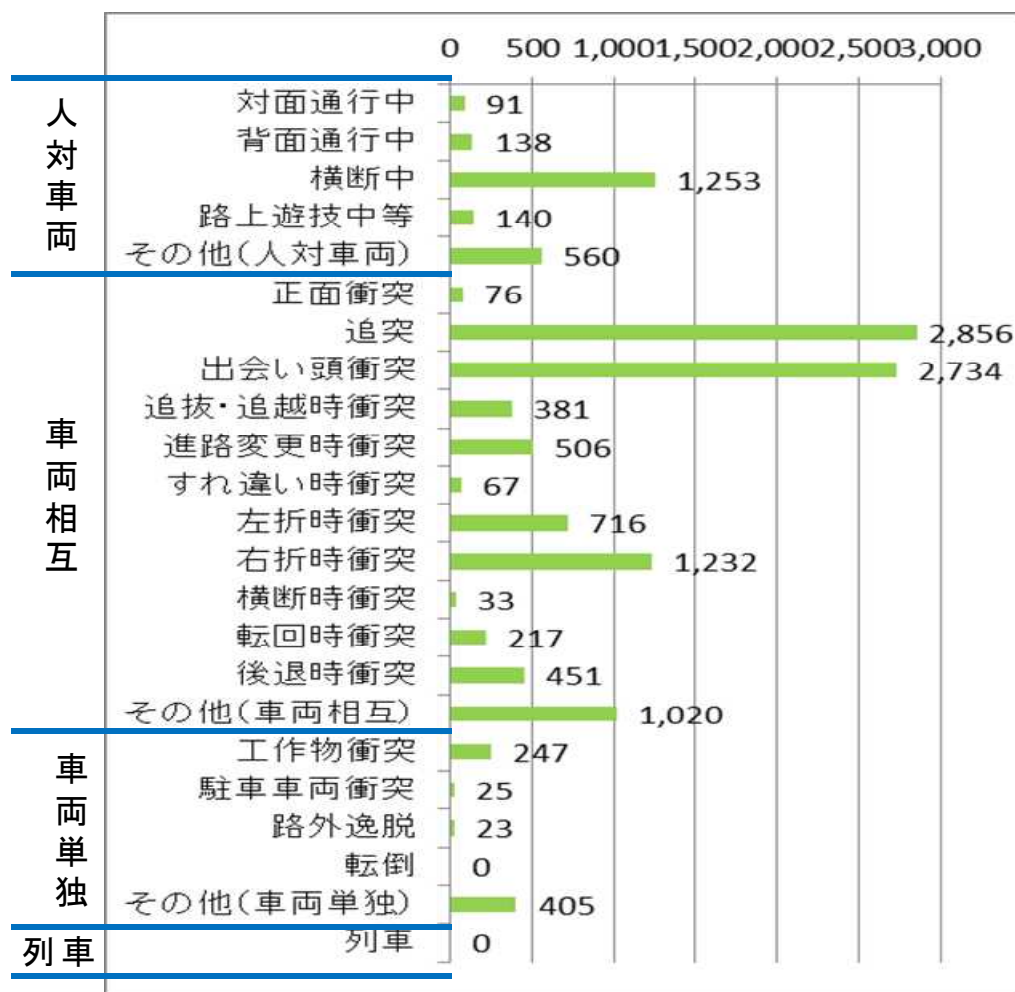


# ハイタクの特徴的な事故(全国)

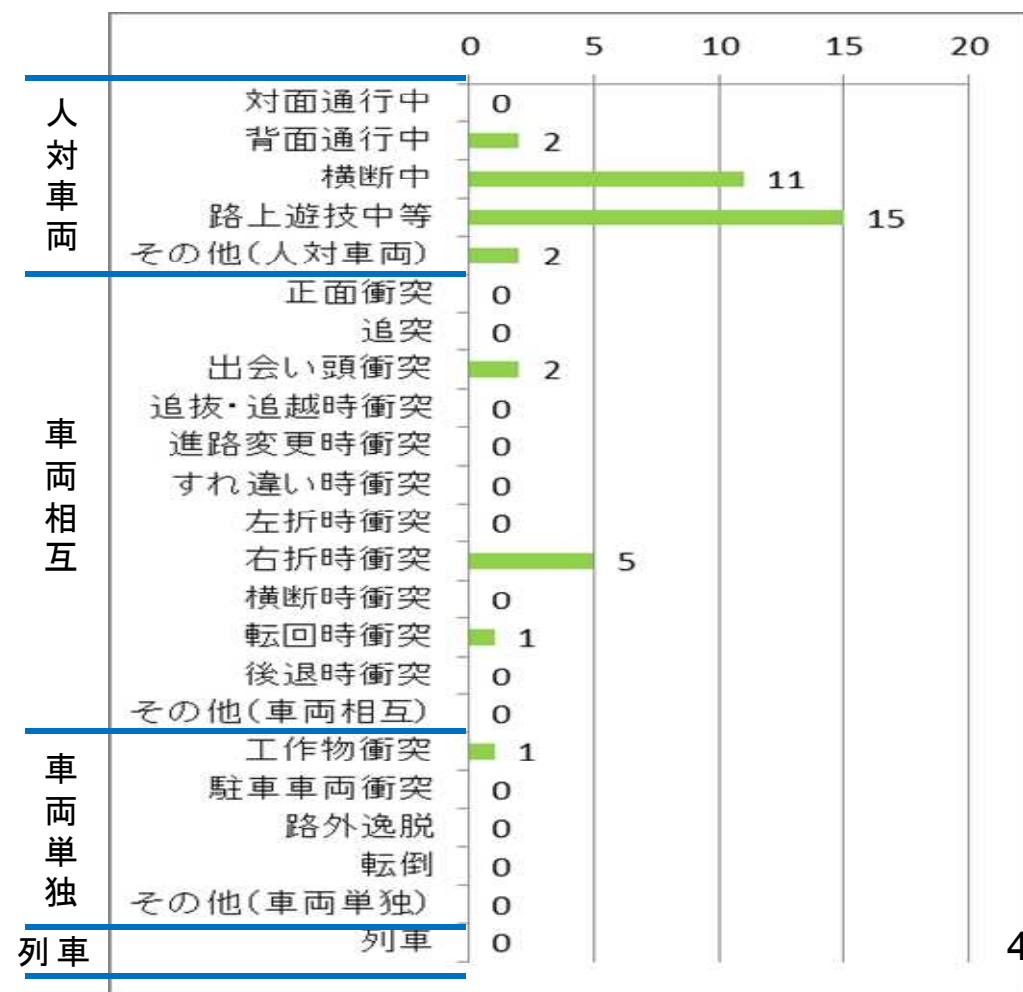
○事故件数は、車両相互が10,289件発生しており、その中で追突及び出会い頭衝突で54.3%を占めている。

○死亡事故件数は、人対車両が30件発生しており、その中で路上遊戯中等及び横断中で86.6%を占めている。

## 平成29年事故類型別事故件数の内訳

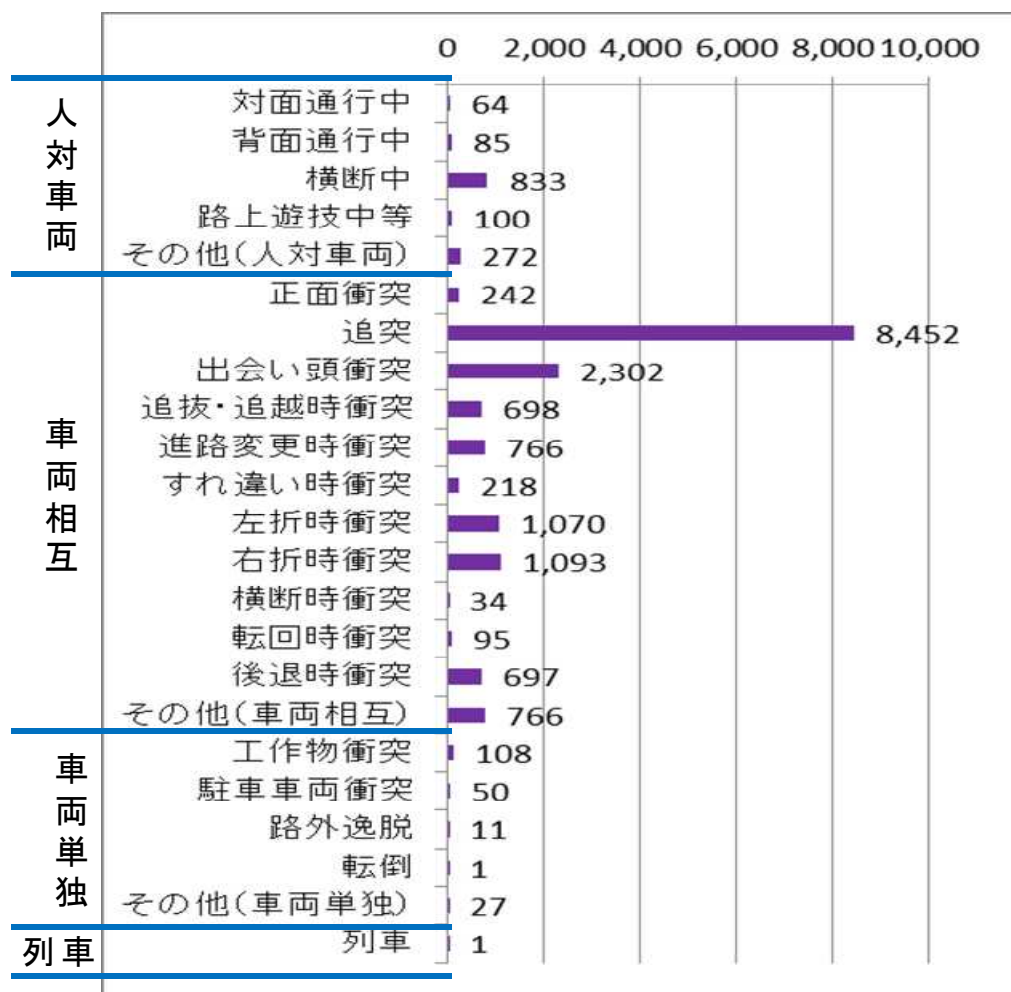


## 平成29年事故類型別死亡事故件数の内訳

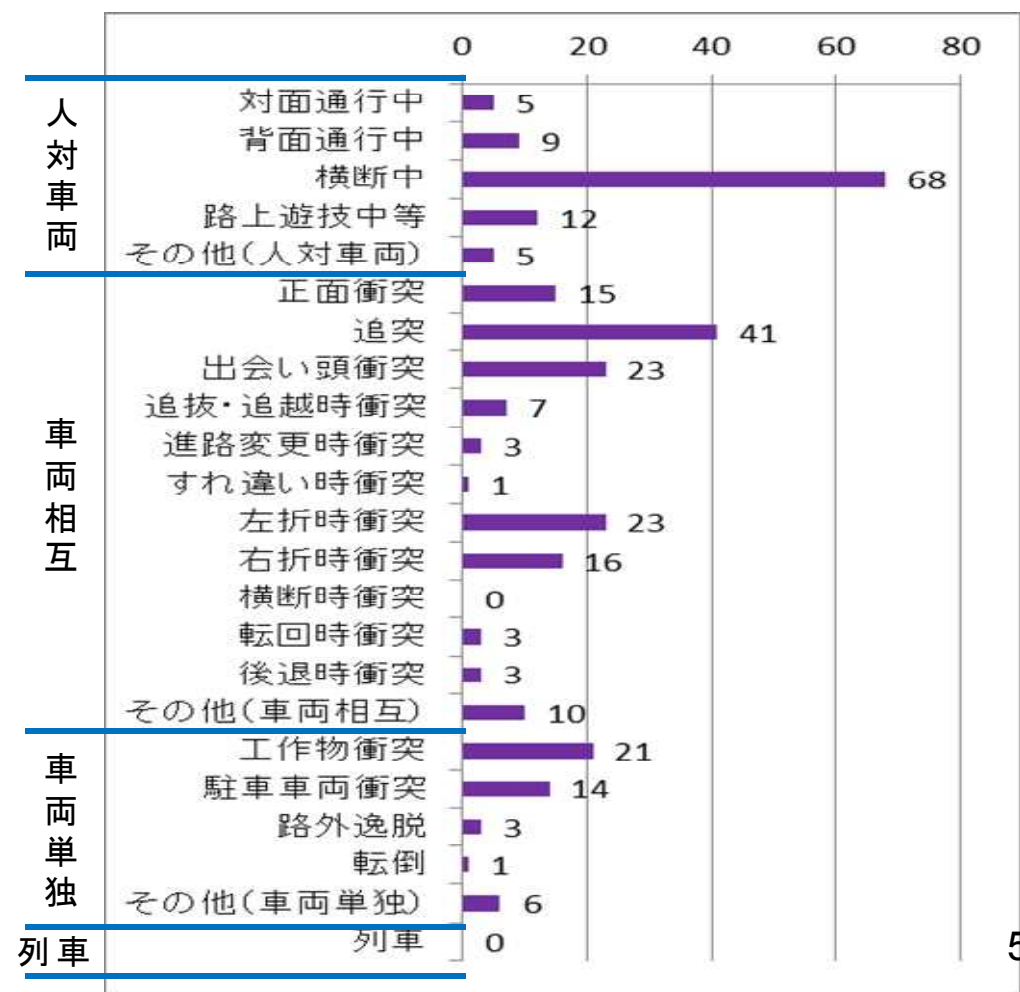


○事故件数は、車両相互が16,433件発生しており、その中で追突が51.4%を占めている。  
 ○死亡事故件数は、人対車両が99件発生しており、その中で横断中が68.6%を、また、車両相互が145件発生しており、その中で追突が28.2%を占めている。

## 平成29年事故類型別事故件数の内訳

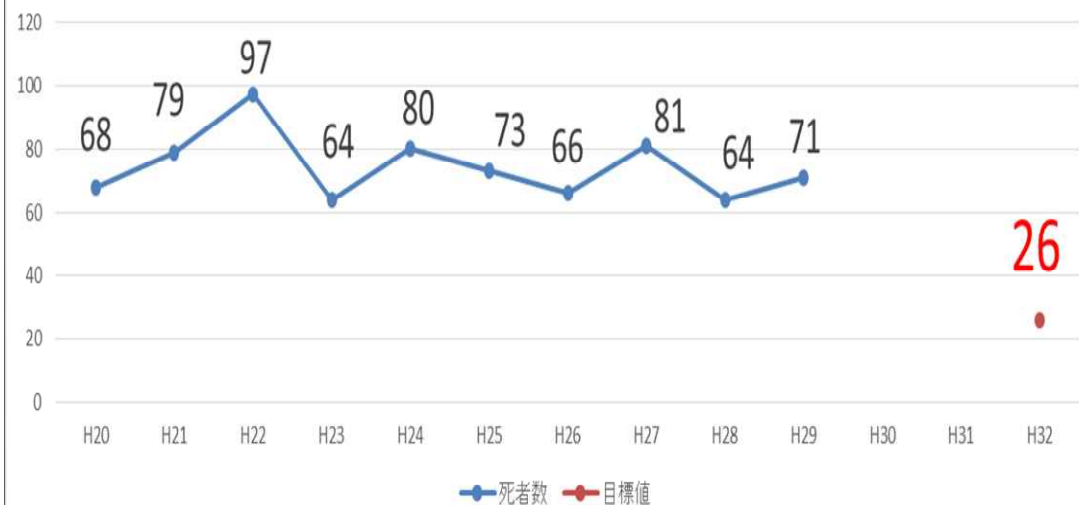


## 平成29年事故類型別死亡事故件数の内訳

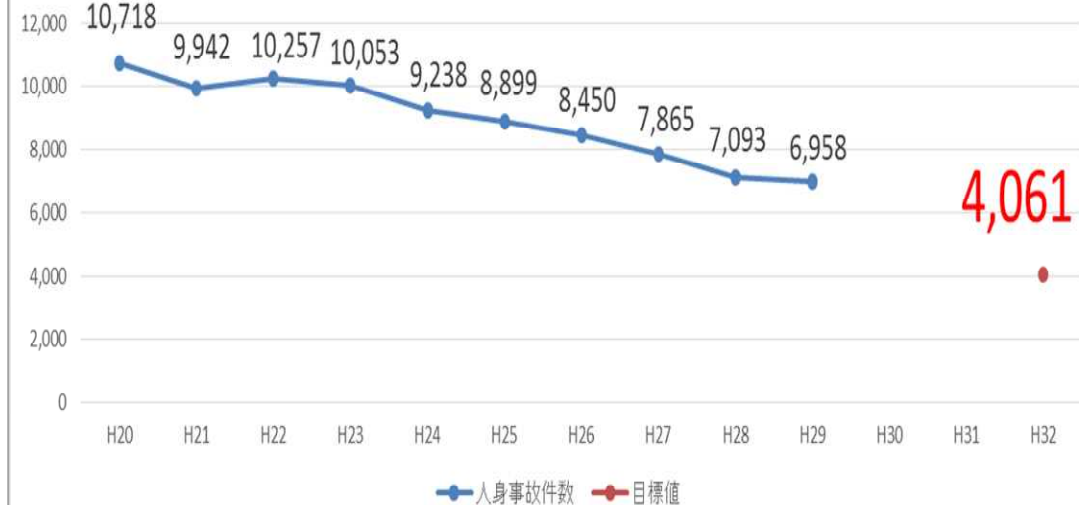


# 事業用自動車事故削減目標(近畿)

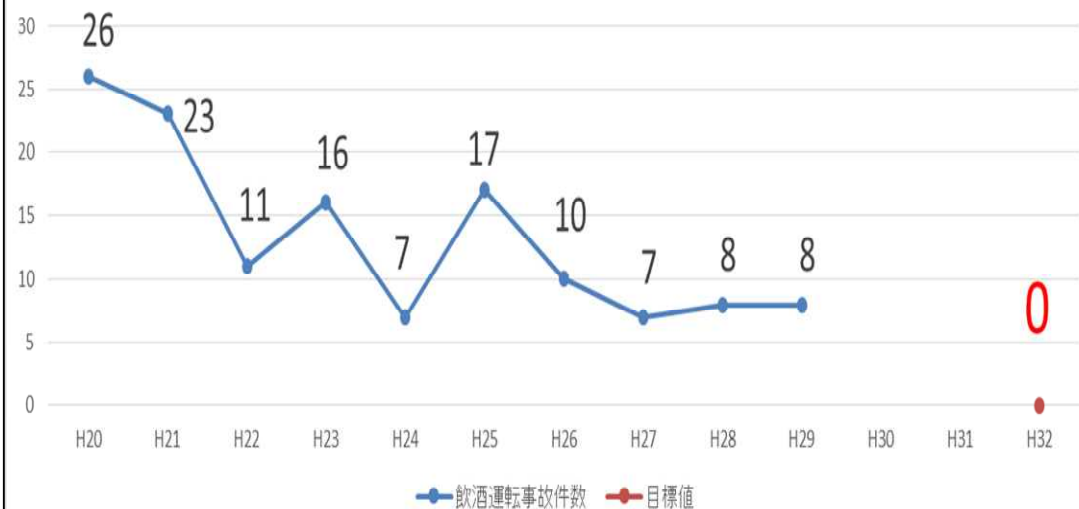
事故削減目標値(死者数)



事故削減目標値(人身事故件数)



事故削減目標値(飲酒運転事故件数)



事故削減目標値(平成32年までに)  
 死者数: 26人以下  
 人身事故件数: 4,061件以下  
 飲酒運転事故件数: 0件

死者数及び人身事故件数は近畿管内の事業用自動車在全国で第一当事者として惹起した数値

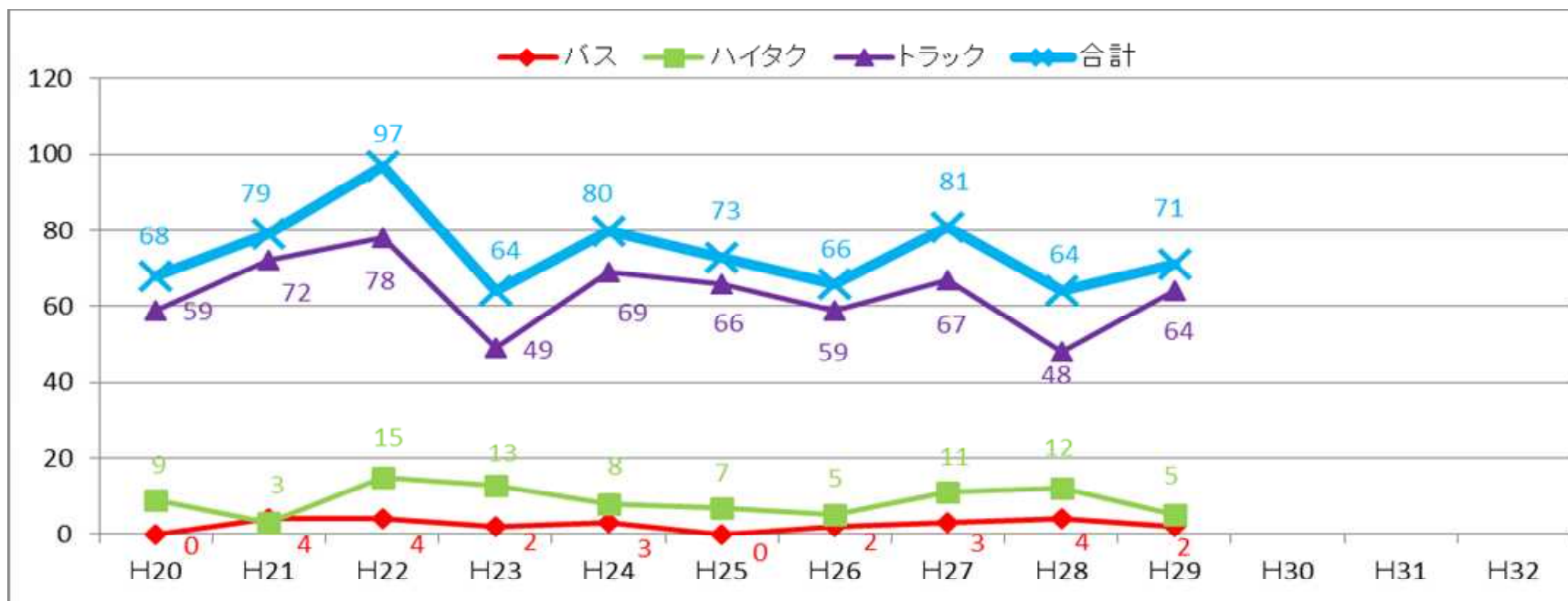
出典: 死者数及び人身事故件数 / (公財)交通事故総合分析センター  
 飲酒運転事故件数 / 近畿管区警察局

# 事業用自動車の死者数及び人身事故件数(近畿)

## 死者数

### 事故削減目標値

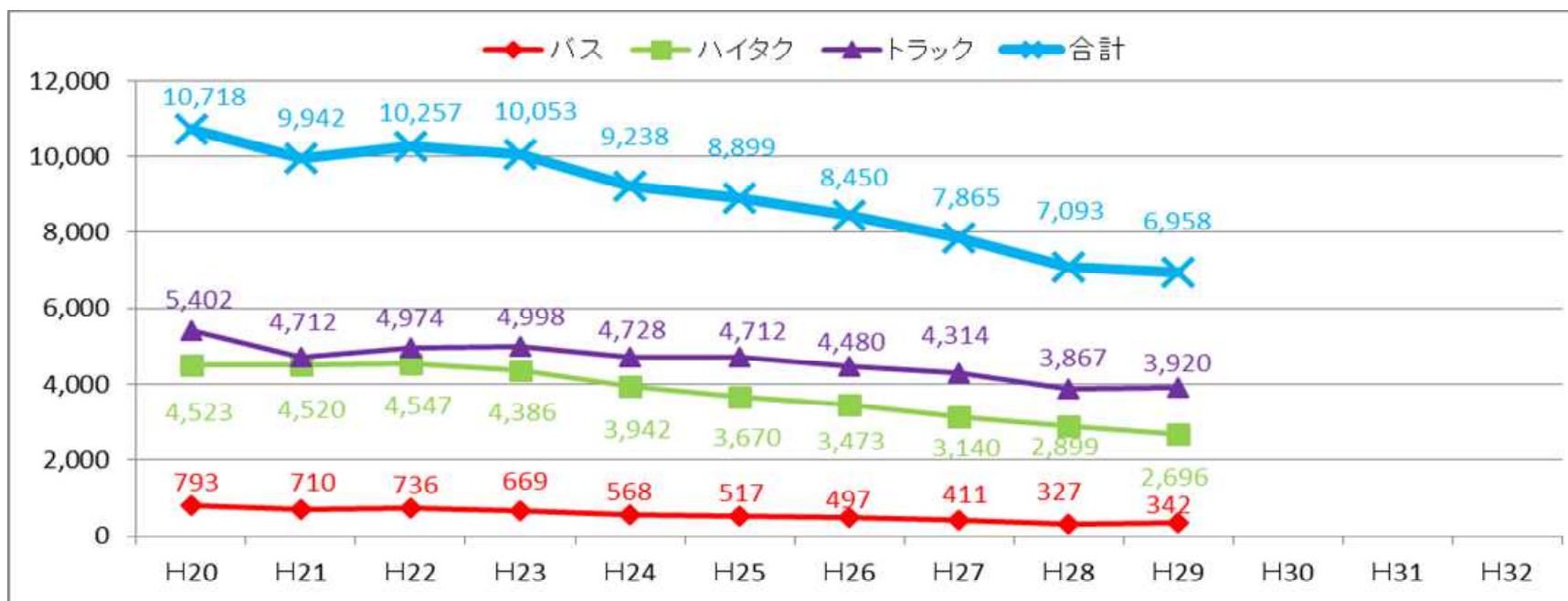
- 死者数
- バス: 0人
- ハイタク: 3人以下
- トラック: 23人以下



## 人身事故件数

### 事故削減目標値

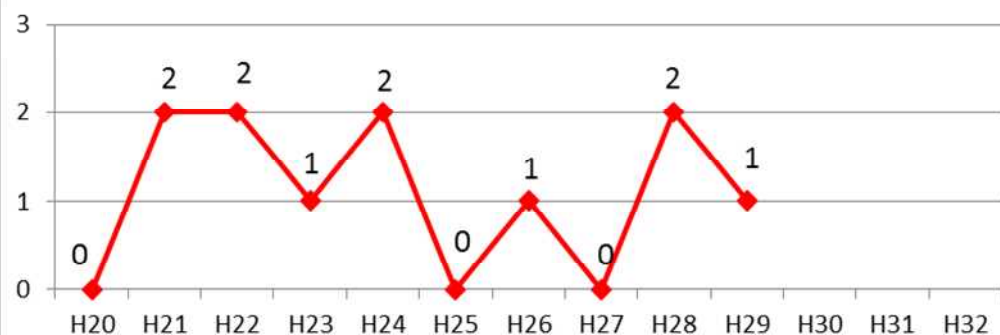
- 人身事故件数
- バス: 219件以下
- ハイタク: 1,657件以下
- トラック: 2,185件以下



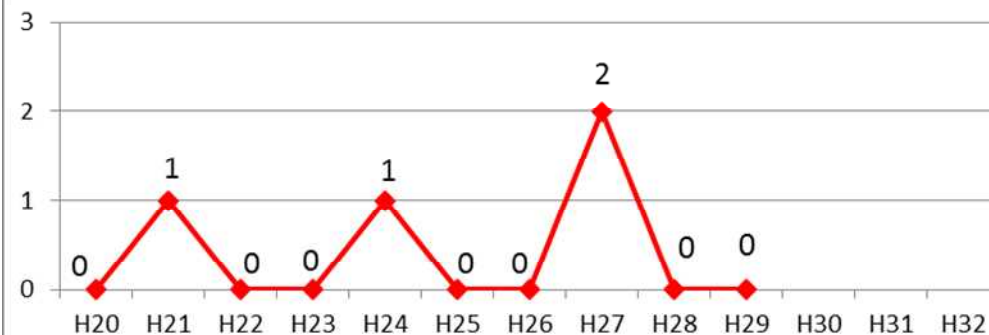


# 府県別の事業用自動車の死者数(バス)

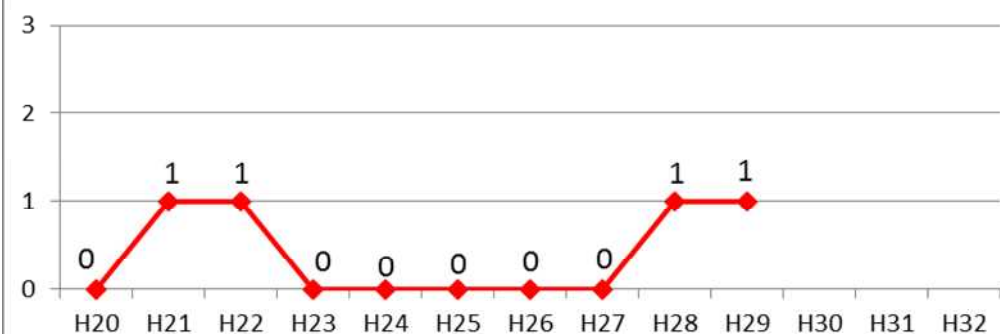
## (大阪府)



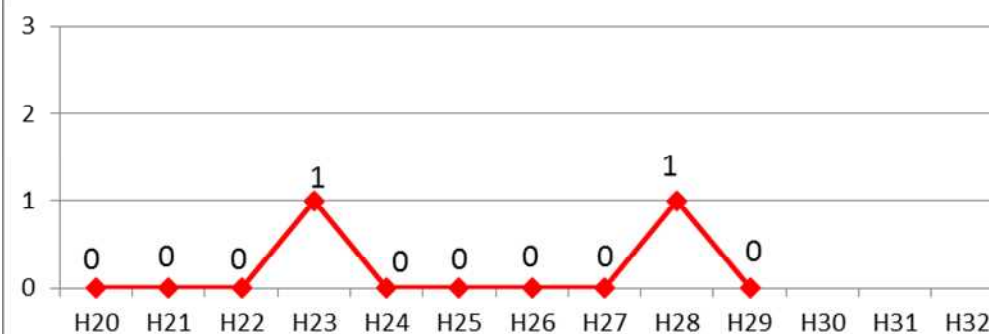
## (京都府)



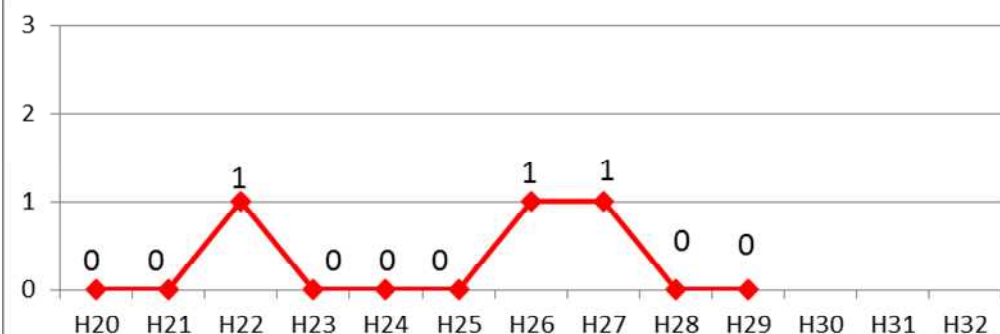
## (兵庫県)



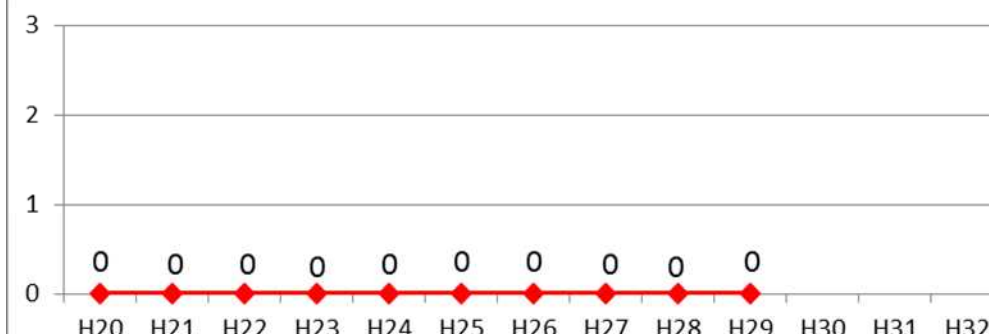
## (滋賀県)



## (奈良県)

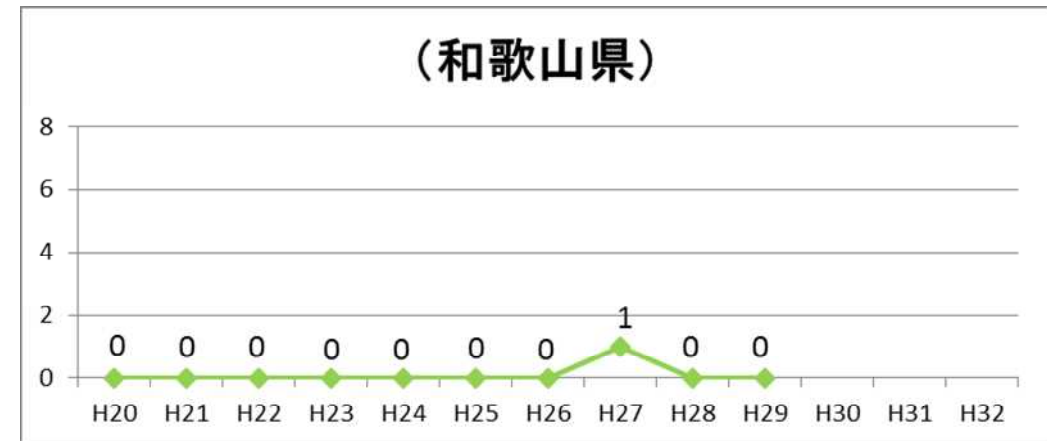
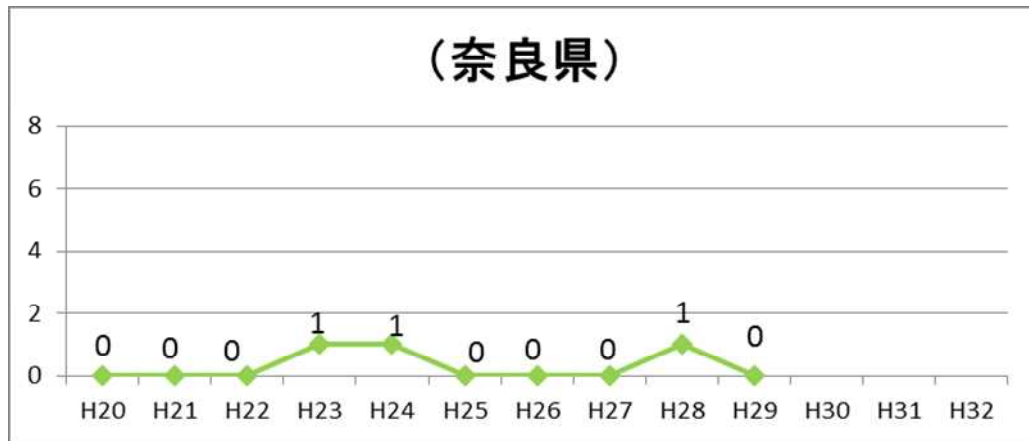
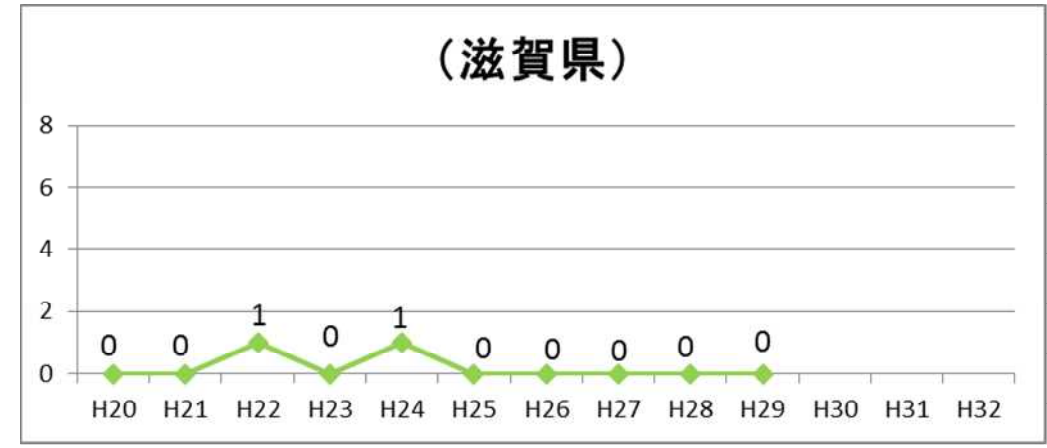
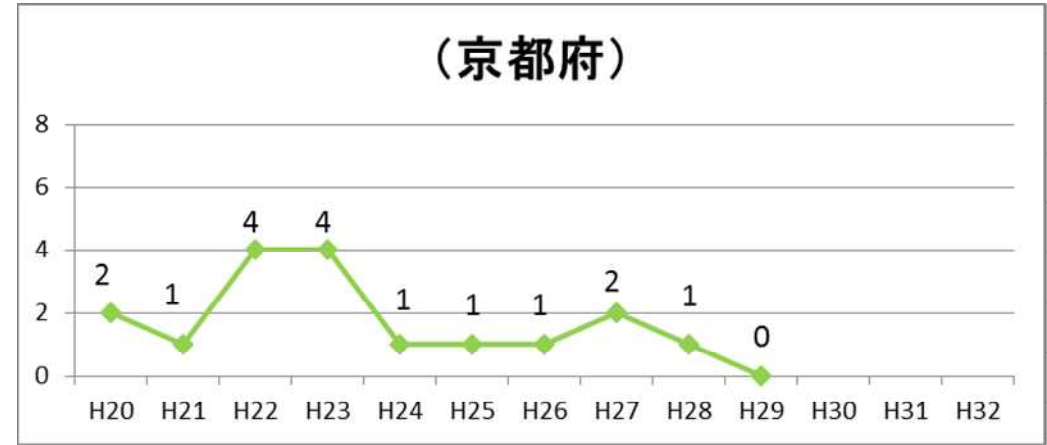


## (和歌山県)



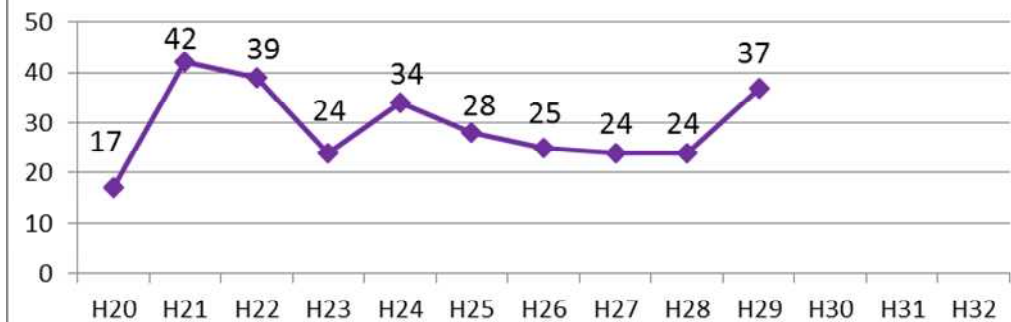
出典:(公財)交通事故総合分析センター

# 府県別の事業用自動車の死者数(ハイタク)

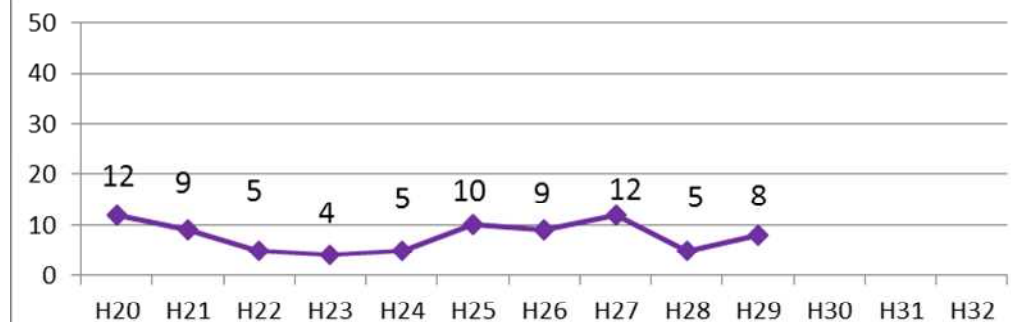


# 府県別の事業用自動車の死者数(トラック)

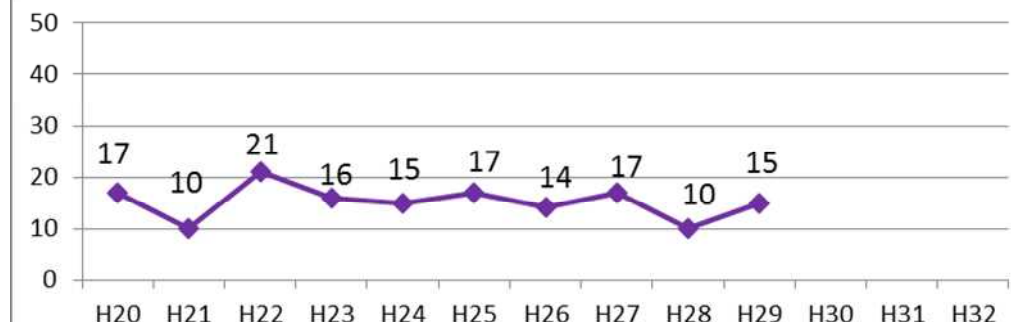
## (大阪府)



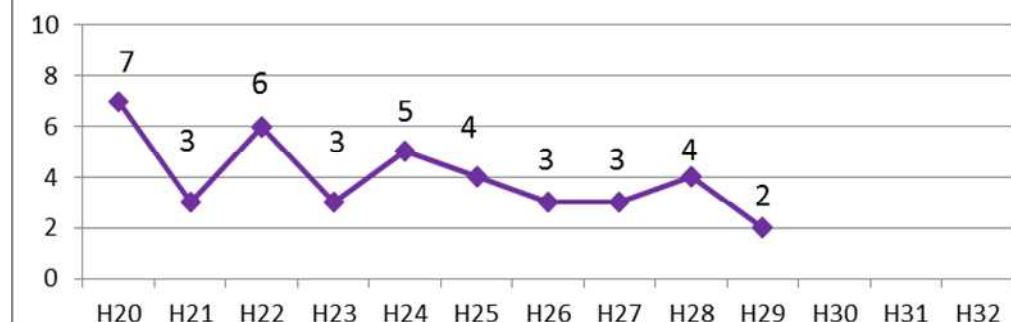
## (京都府)



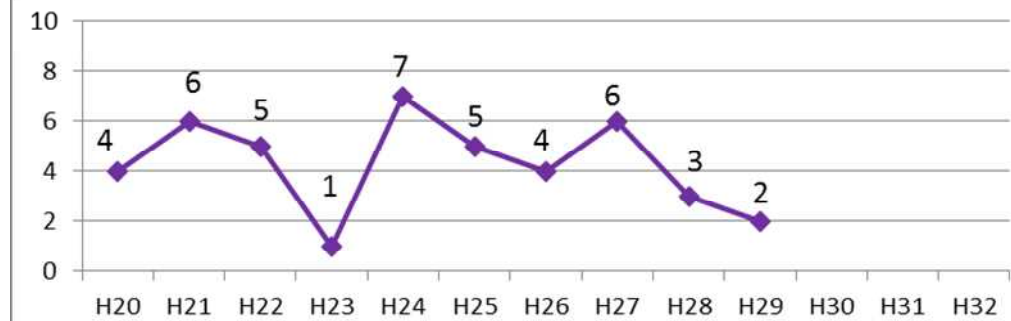
## (兵庫県)



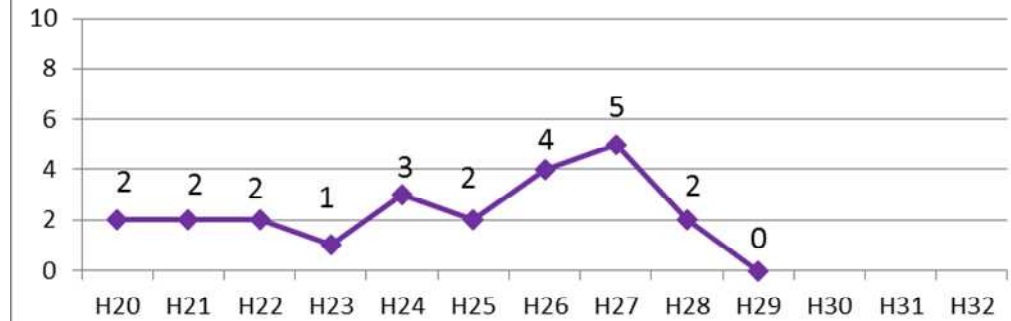
## (滋賀県)



## (奈良県)

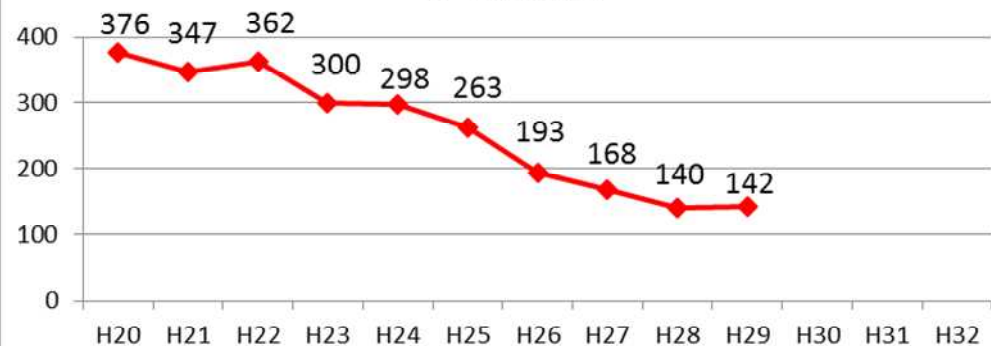


## (和歌山県)

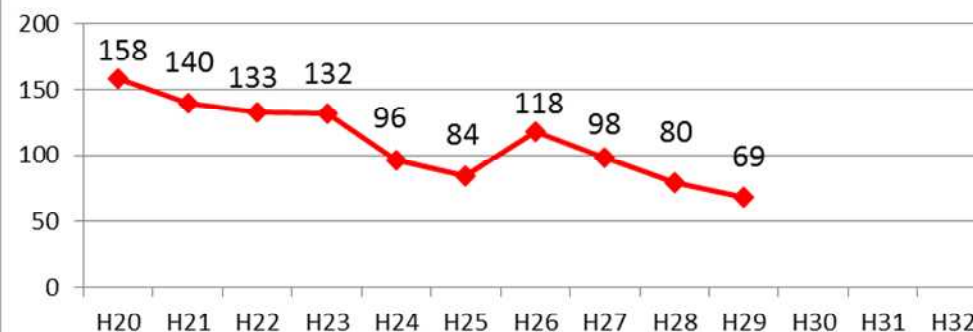


# 府県別の事業用自動車の人身事故件数(バス)

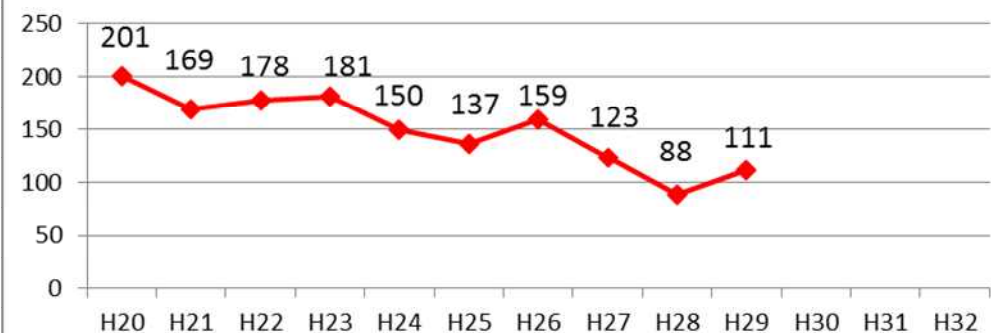
## (大阪府)



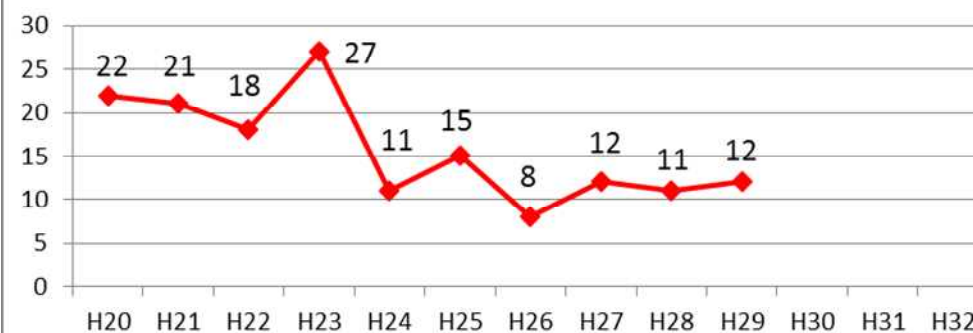
## (京都府)



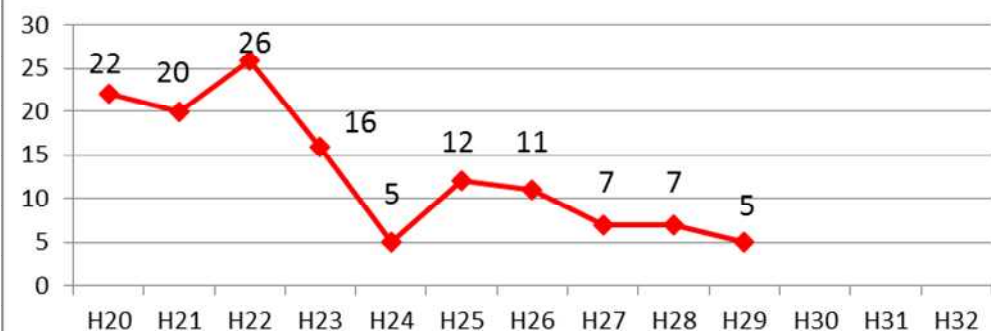
## (兵庫県)



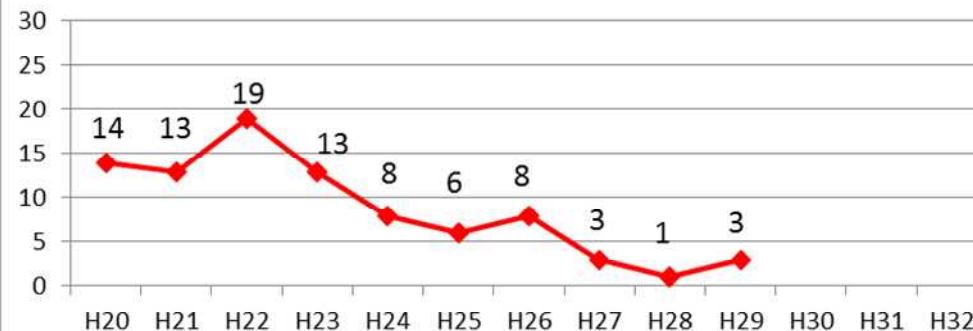
## (滋賀県)



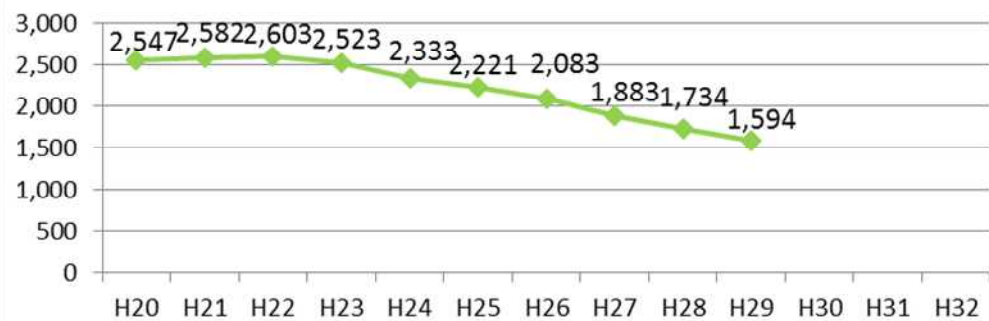
## (奈良県)



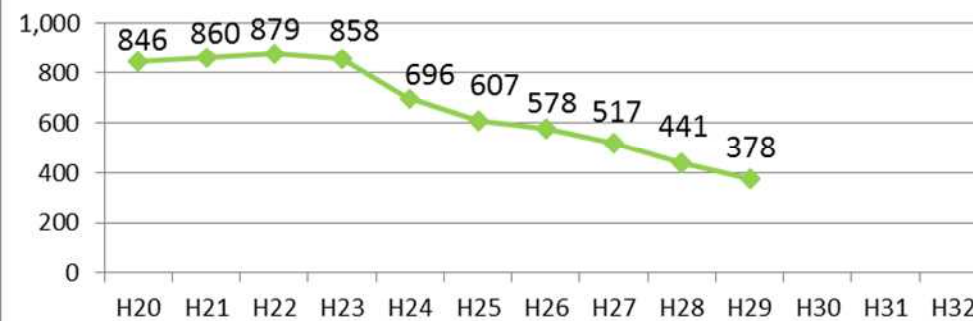
## (和歌山県)



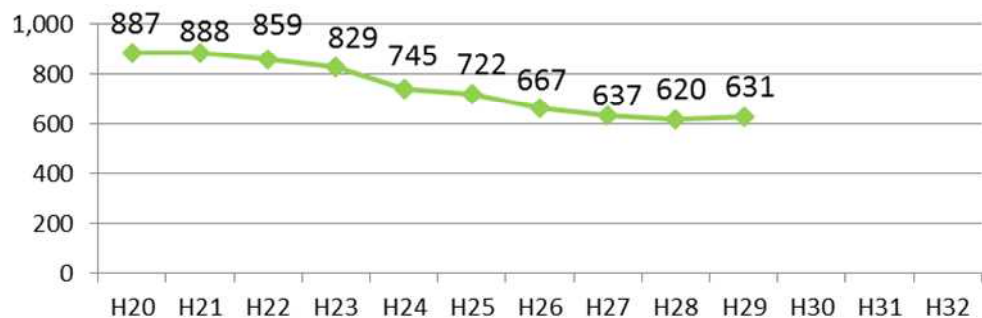
## (大阪府)



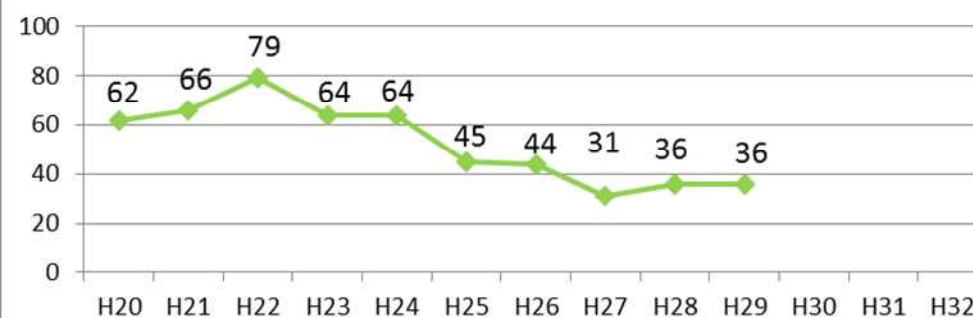
## (京都府)



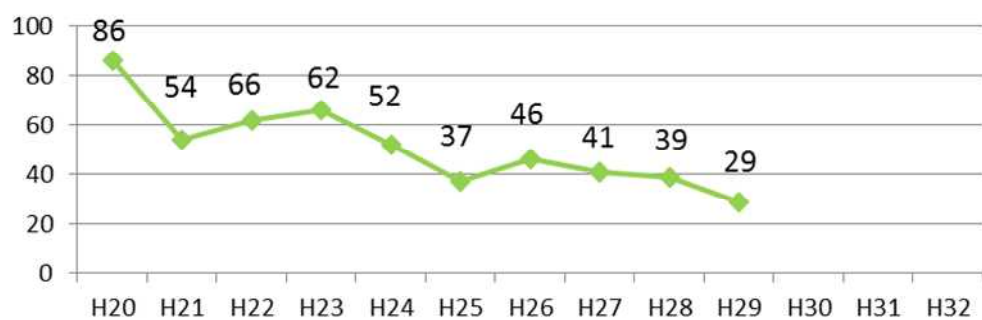
## (兵庫県)



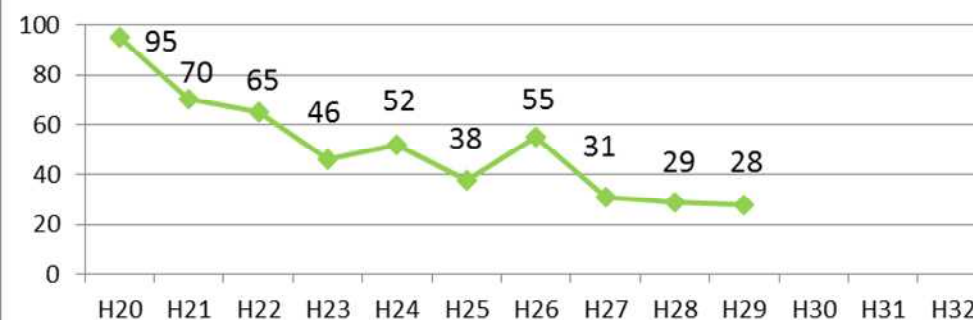
## (滋賀県)



## (奈良県)

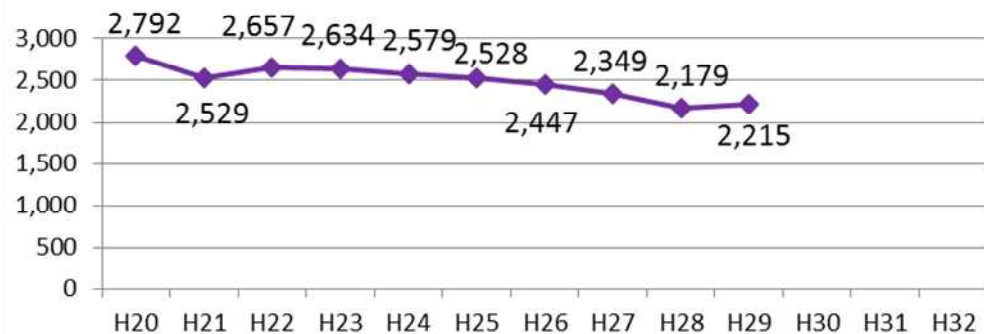


## (和歌山県)

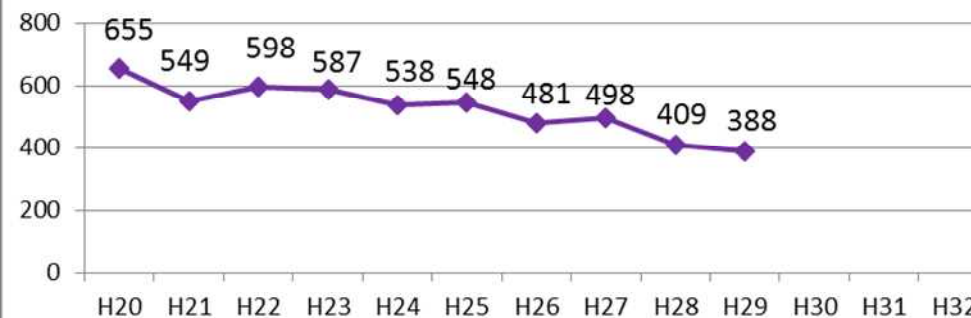


# 府県別の事業用自動車的人身事故件数(トラック)

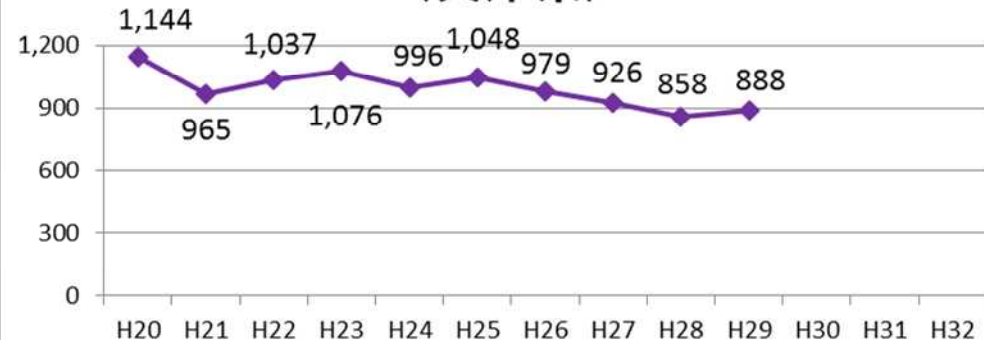
## (大阪府)



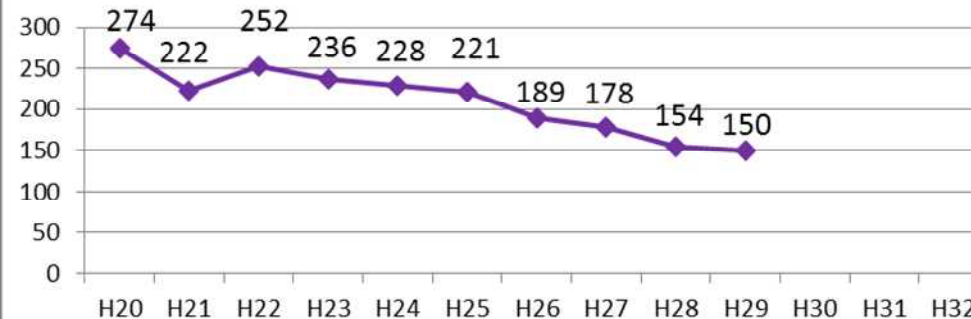
## (京都府)



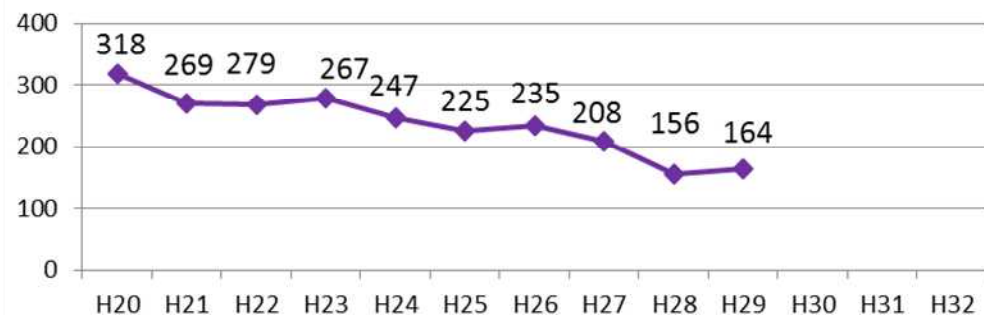
## (兵庫県)



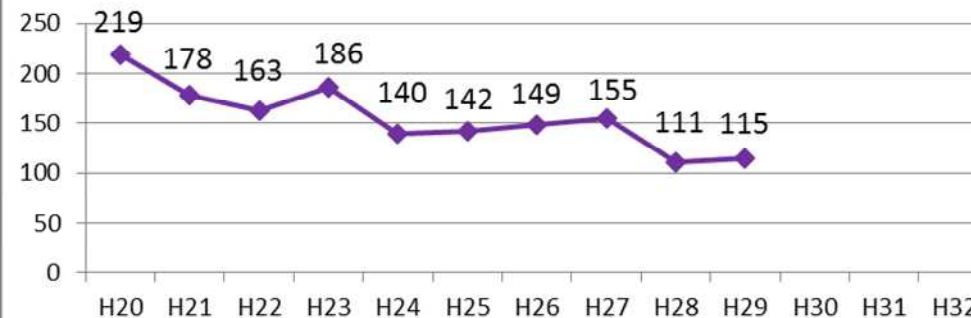
## (滋賀県)



## (奈良県)

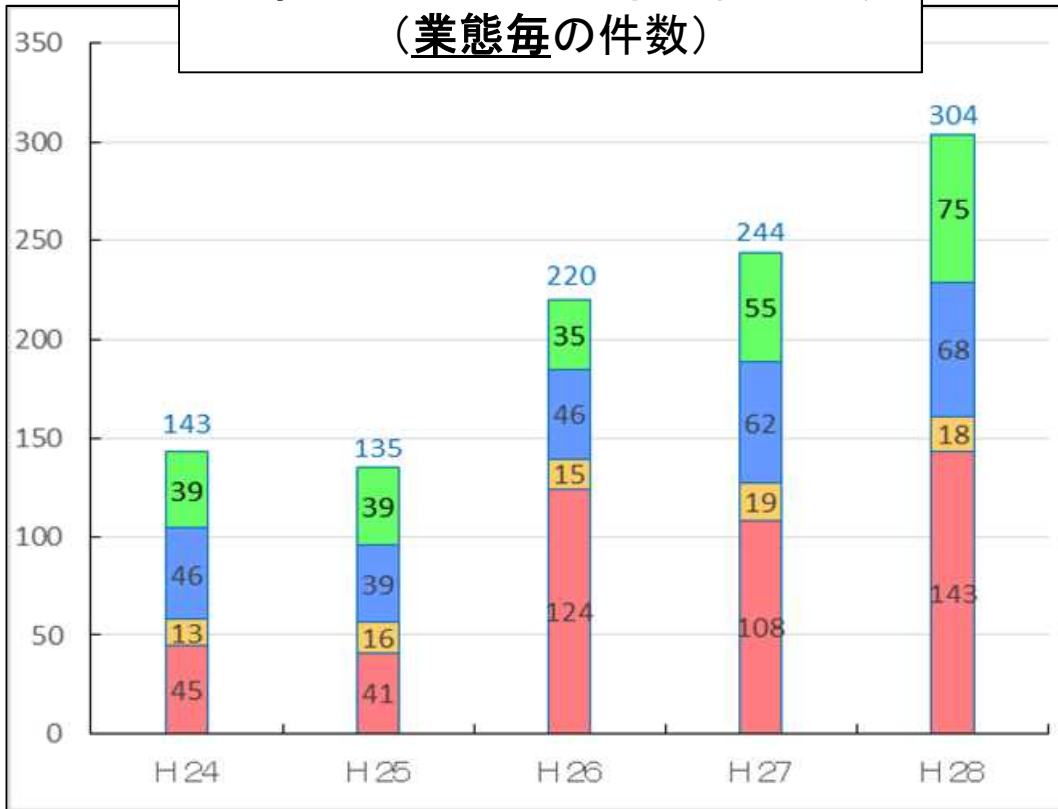


## (和歌山県)

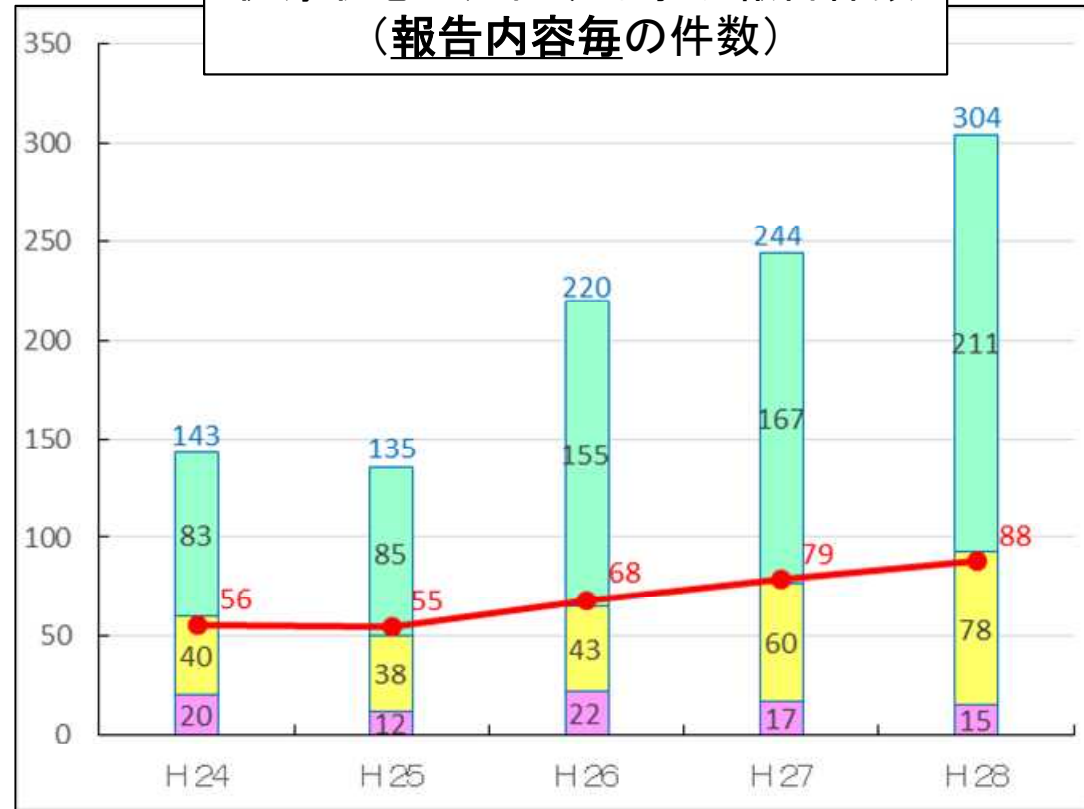


- 運転者の疾病により事業用自動車の**運転を継続できなくなった事案**として、自動車事故報告規則に基づき報告のあった件数は、健康起因事故に対する事業者の意識の高まり等を反映し、増加傾向にある
- 運行の中断等、交通事故に至らなかったものが大半を占めるが、**約3割が運転中に操作不能**となった事案であり、増加傾向となっている

健康状態に起因する事故報告件数  
(業態毎の件数)



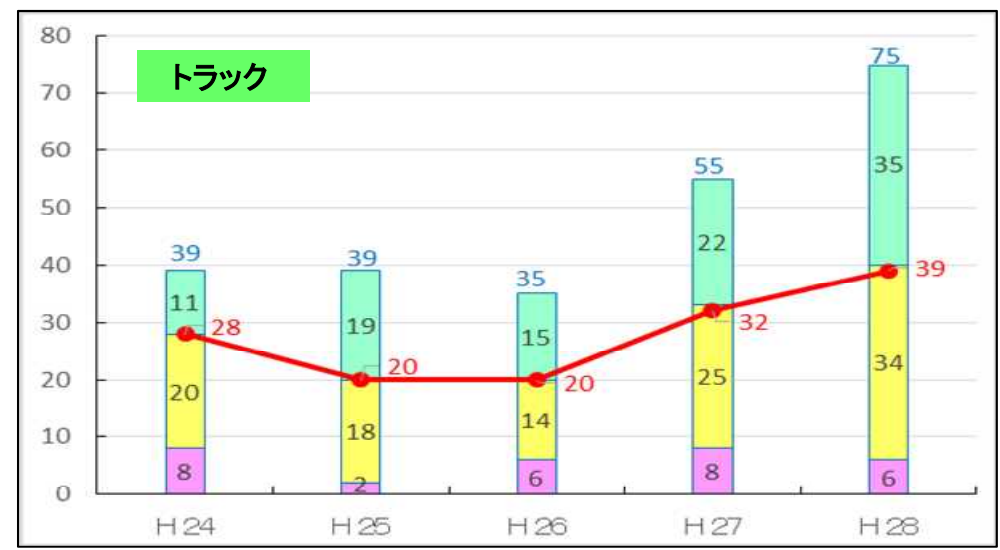
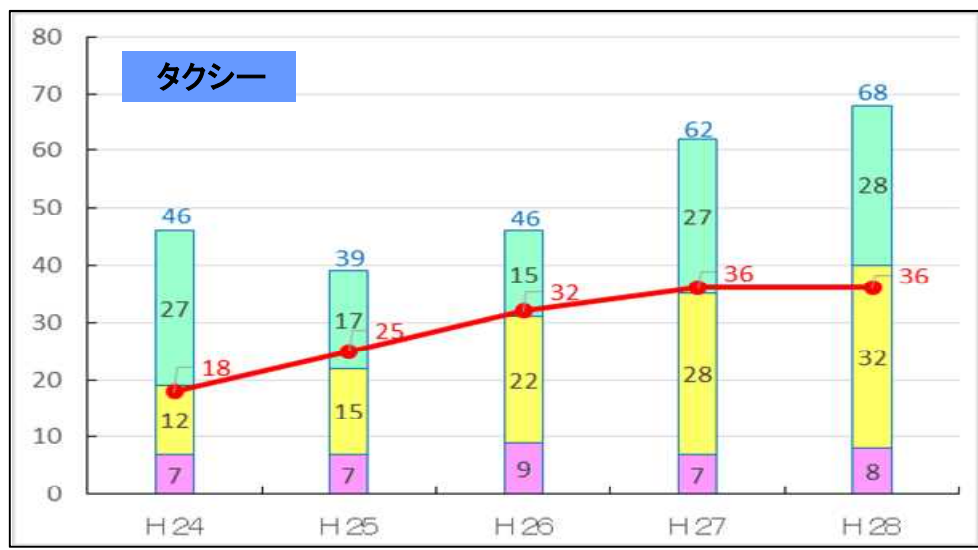
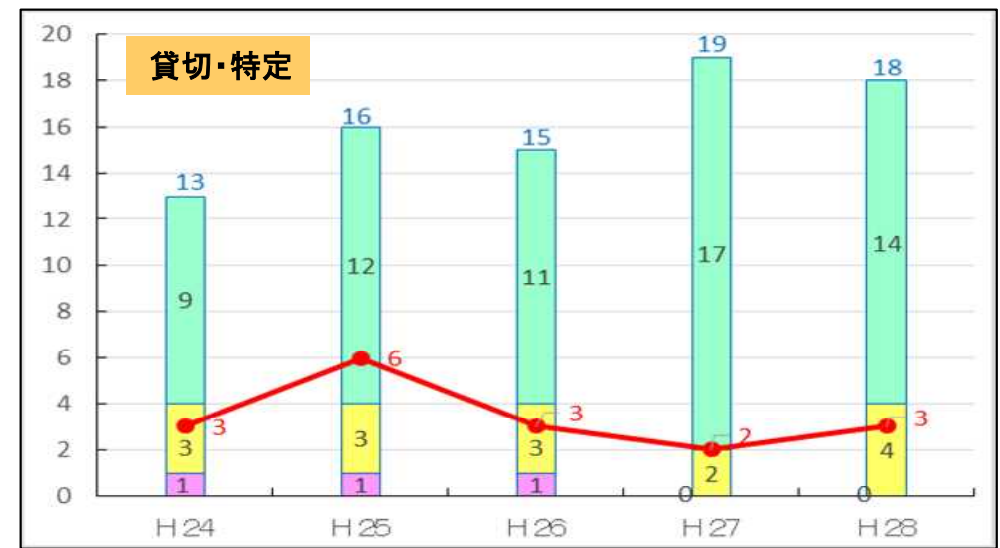
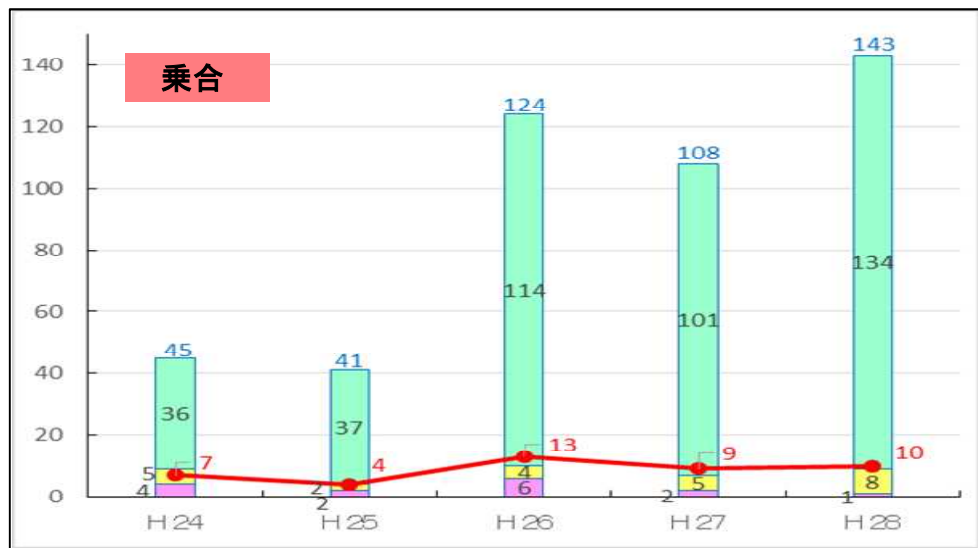
健康状態に起因する事故報告件数  
(報告内容毎の件数)



- トラック
- タクシー
- 貸切・特定
- 乗合

- 衝突・接触がなかったもの(乗務の中断等)
- 衝突・接触を伴うもので、運転者以外に死傷者が生じていないもの(物損事故等)
- 衝突・接触を伴うもので、運転者以外に死傷者が生じたもの(人身事故等)
- 運転中(信号待ち、乗降扱い中を含む)に、意識障害等により、運転操作が不能となったもの

業態別の健康状態に起因する事故報告件数(報告内容毎の件数)



■ 衝突・接触がなかったもの(乗務の中断等)  
■ 衝突・接触を伴うもので、運転者以外に死傷者が生じていないもの(物損事故等)  
■ 衝突・接触を伴うもので、運転者以外に死傷者が生じたもの(人身事故等)

● 運転中(信号待ち、乗降扱い中を含む)に、意識障害等により、  
— 運転操作が不能となったもの

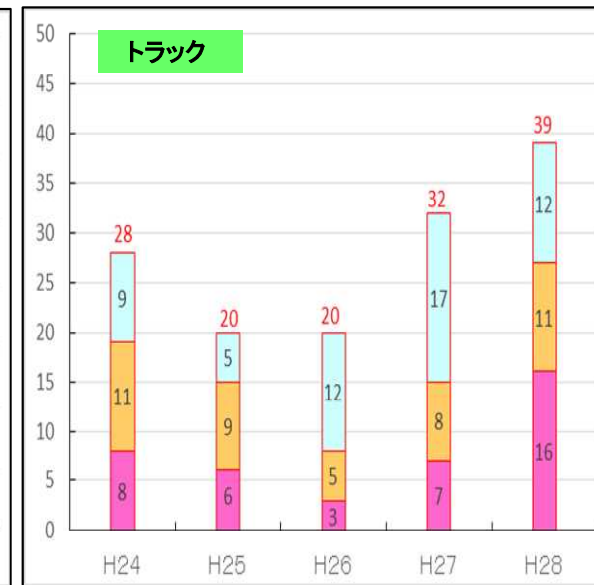
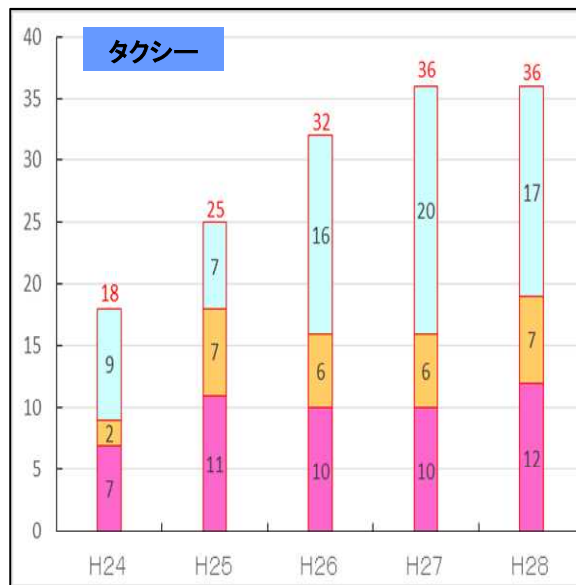
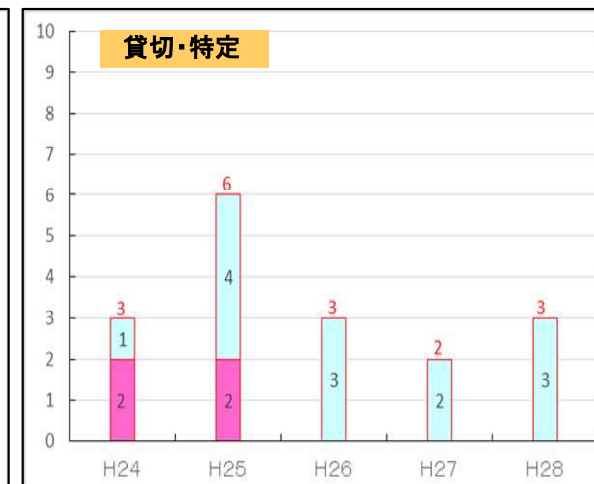
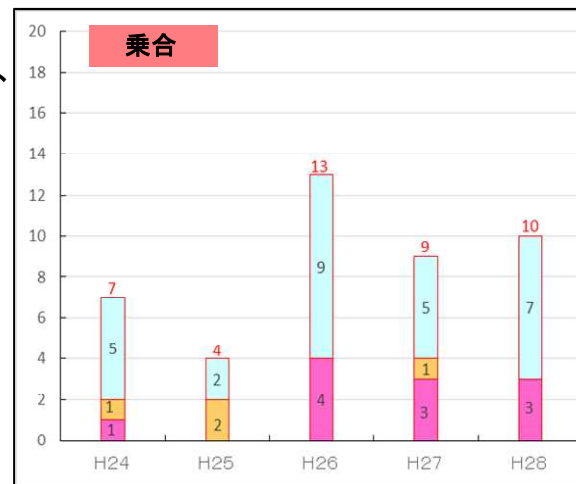


## 運転中の操作不能事案(※)の脳・心疾患の割合

※ 運転中(信号待ち、乗降扱い中を含む)に、意識障害等により、**運転操作が不能**となった事案の報告件数



■ その他  
■ 心臓疾患  
■ 脳疾患

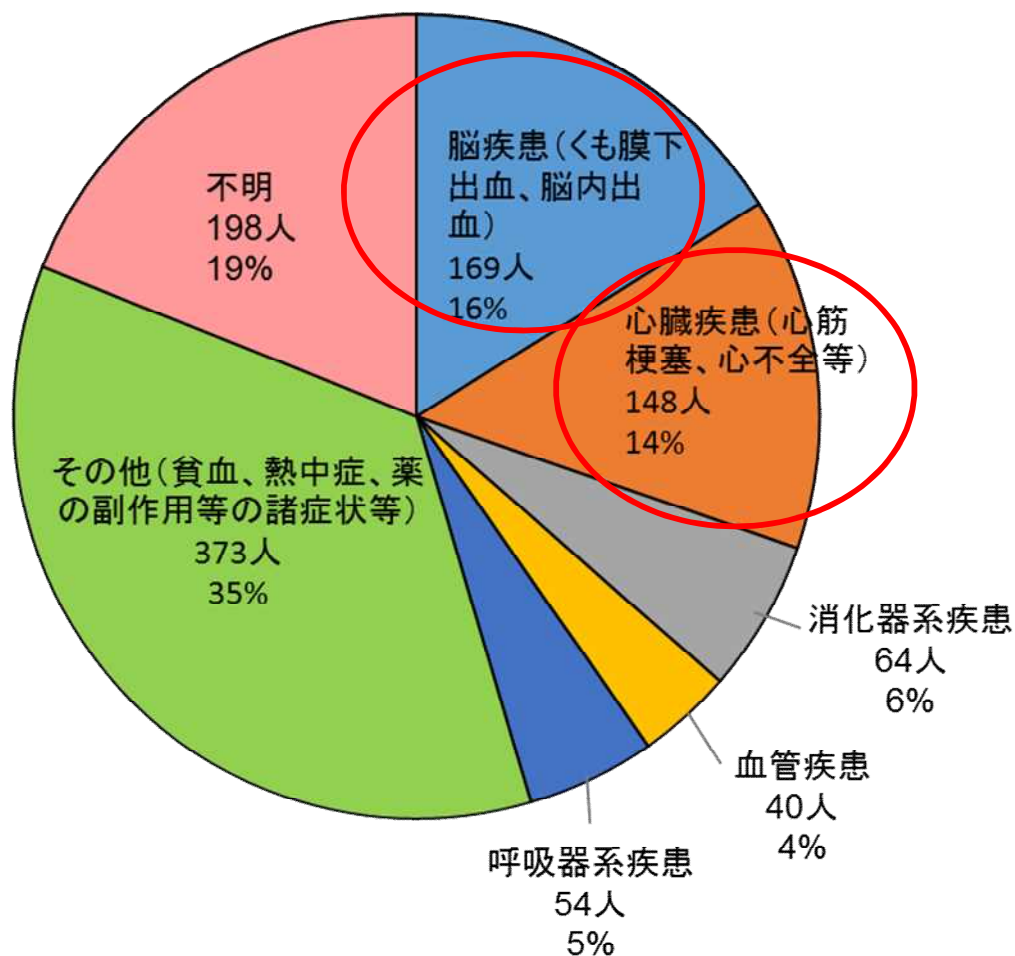


# 健康起因事故の疾病別の内訳(全国)(平成24~28年)

○過去5年間で健康起因事故を起こした運転者1,046人のうち脳疾患が16%、心臓疾患が14%を占める。  
 ○うち、死亡した運転者196人の疾病別内訳は、心臓疾患が50%、脳疾患が15%を占める。

健康起因事故を起こした運転者の疾病別内訳  
(平成24~28年)

計1,046人



健康起因により死亡した運転者の疾病別内訳  
(平成24~28年)

計196人

